

平成 30 年 5 月 17 日

民進党・新緑風会 藤田 幸久

参議院外交防衛委員会質問要旨

1 B E P S 防止措置実施条約

【河野外務大臣】

本条約の規定には、一部の規定を適用しないこと等の留保を付して選択することができる規定が含まれている。しかし日本や相手国が付した留保により本条約の適用関係が具体的にどのように変わるのかが不明確である。

本条約の適用に関して、日本はもちろん、相手国も多数の留保を付しているようだが、このような留保は、B E P S 防止の効果を大幅に減少させてしまうのではないか。本条約が多く留保を許容する背景と併せ、政府の認識を伺いたい。

2 カンボジア関連

【河野外務大臣】

- 1) 海外各国在住のカンボジア人の多くから、国民の意思が適正に反映される選挙実施に向けての日本政府の働きかけを求めた陳情書が河野大臣に寄せられた。類似の内容の署名が日本の市民 1 万人近くからも寄せられた。これらに対していかなる対応をするのか？
- 2) 最大野党のケム・ソカ救国党党首は昨年 9 月に逮捕された。堀之内大使は、国会副議長であった議員の不逮捕特権の侵害、辺境の地の刑務所の拘留についての懸念をカンボジア政府に伝えたのか？
- 3) ケム・ソカ党首は医師ではなく medic（医学生）の診察しか受けられず、手術が必要とされる肩の腱板断裂についての治療は受けられていない。堀之内大使は、彼の釈放や治療に向けての働きかけを行ったのか？
- 4) 7 月の総選挙に向けて、14 日に締め切られた政党登録で登録された 20 の政党

のほとんどが与党人民党の息のかかった政党と思われる。これでは国民の意思を反映した選挙にはなりえないと思う。日本政府は真の野党政党抜き選挙で正当性のある選挙になると認識しているか？投票率が著しく低下することを懸念して、政府側が罰則も含めた投票を強制する法案を検討しているという情報もあるがいか

- 3 米国戦略態勢委員会における秋葉公使出席問題について **【河野外務大臣】**
- 4 朝鮮半島の非核化と駐留米軍の関係について **【小野寺防衛大臣】**
- 5 河野統幕長の任期延長について **【小野寺防衛大臣】**